

第 7 章 説明資料の作成

章 内 目 次

7. 説明資料の作成.....	7-1
7.1. 説明資料の作成目的・構成の検討.....	7-1
7.1.1. 説明資料の作成目的.....	7-1
7.1.2. 説明資料の構成の検討.....	7-4
7.2. 説明資料の作成.....	7-5

7. 説明資料の作成

2～6章で取りまとめた結果を踏まえ、地域の課題・ニーズや整備効果を分かりやすく説明するための資料作成を行った。

7.1. 説明資料の作成目的・構成の検討

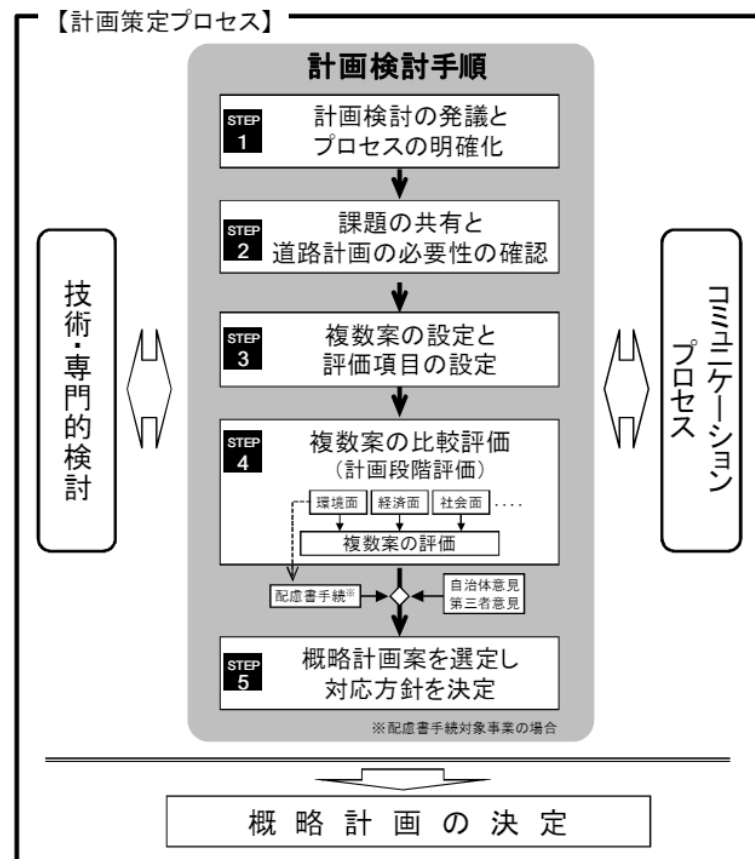
7.1.1. 説明資料の作成目的

構想段階における計画策定プロセスは、以下のステップ1からステップ5の手順で行われる。本章では、計画策定プロセスに活用可能な説明資料の作成（主にステップ2から4までの内容）を目指し、以下のステップに即した資料の作成を行う。

表 7-1 計画策定プロセスのステップと概要

計画策定プロセスのステップ	各ステップの概要
ステップ1: 計画検討の発議とプロセスの明確化	計画策定者は、構想段階の計画検討を開始する際に、上位計画等で提案された基本方針や現状あるいは将来の課題に基づき、当該道路計画の目標、概略計画における決定事項、検討の進め方、スケジュール等の計画検討に必要な事項を明確にし、計画検討に着手することを公表する。
ステップ2: 課題の共有と道路計画の必要性の確認	(1) 解決すべき課題の共有と道路計画の目標の設定 当該道路計画が対象とする地域において、広域的な計画等 に示された地域が目指す将来像を踏まえ、解決が必要とされる 現在あるいは将来の課題について、できる限り早い段階で住 民・関係者等と共有するとともに、当該課題の解決を当該道路 計画の目標として設定する。 (2) 道路計画の必要性の確認 当該道路計画によって前項で設定した目標の達成が効率的 かつ効果的に見込まれること及び道路整備以外の方策のみに よっては目標が達成出来ないことを確認することにより、道路計 画の必要性を確認する。
ステップ3: 複数案の設定と評価項目の設定	(1) 複数案の設定(ステップ3a) ステップ2で明確化した目標に照らして、現実的で合理的な案 を原則として複数設定する。 (2) 評価項目の設定(ステップ3b) 目標の達成度や影響の観点から、ステップ4の比較評価で用 いる複数案の評価項目を設定する。
ステップ4: 複数案の比較評価(計画段階評価)	ステップ3aで設定した複数案について、コミュニケーションプロ セスや技術・専門的検討を踏まえ、ステップ3bで設定した評価 項目ごとの評価結果に基づいて、複数案の優位性を評価する。
ステップ5: 概略計画案を選定し、対応方針を決定	計画策定者は、ステップ4の評価結果を踏まえ、関係する都道 府県・政令市等の意見及び学識経験者等の第三者から構成さ れる委員会等の意見を聴いた上で、最も優位な概略計画案を 選定し、対応方針として決定する。

出典：国土交通省道路局 構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン、平成25年7月
(https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-hyouka/pdf/ps_guideline.pdf) を基に作成



出典：国土交通省道路局 構想段階における道路計画策定プロセスガイドライン、平成 25 年 7 月
https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-hyouka/pdf/ps_guideline.pdf

図 7-1 計画検討手順の流れ

なお、「XXXXXXXXXX」においては、発議後から概略計画決定まで、計画の検討をステップ 1 からステップ 5 まで段階的に進める計画検討手順を計画策定プロセスガイドラインに基づき図 7-2 のとおり立案している。

本項では、その検討された計画検討手順に基づき、ステップ 2 からステップ 3 において計画策定者による作成が求められる事項（図 7-2 のオレンジの点線囲み内の内容）に関する説明資料を作成した。

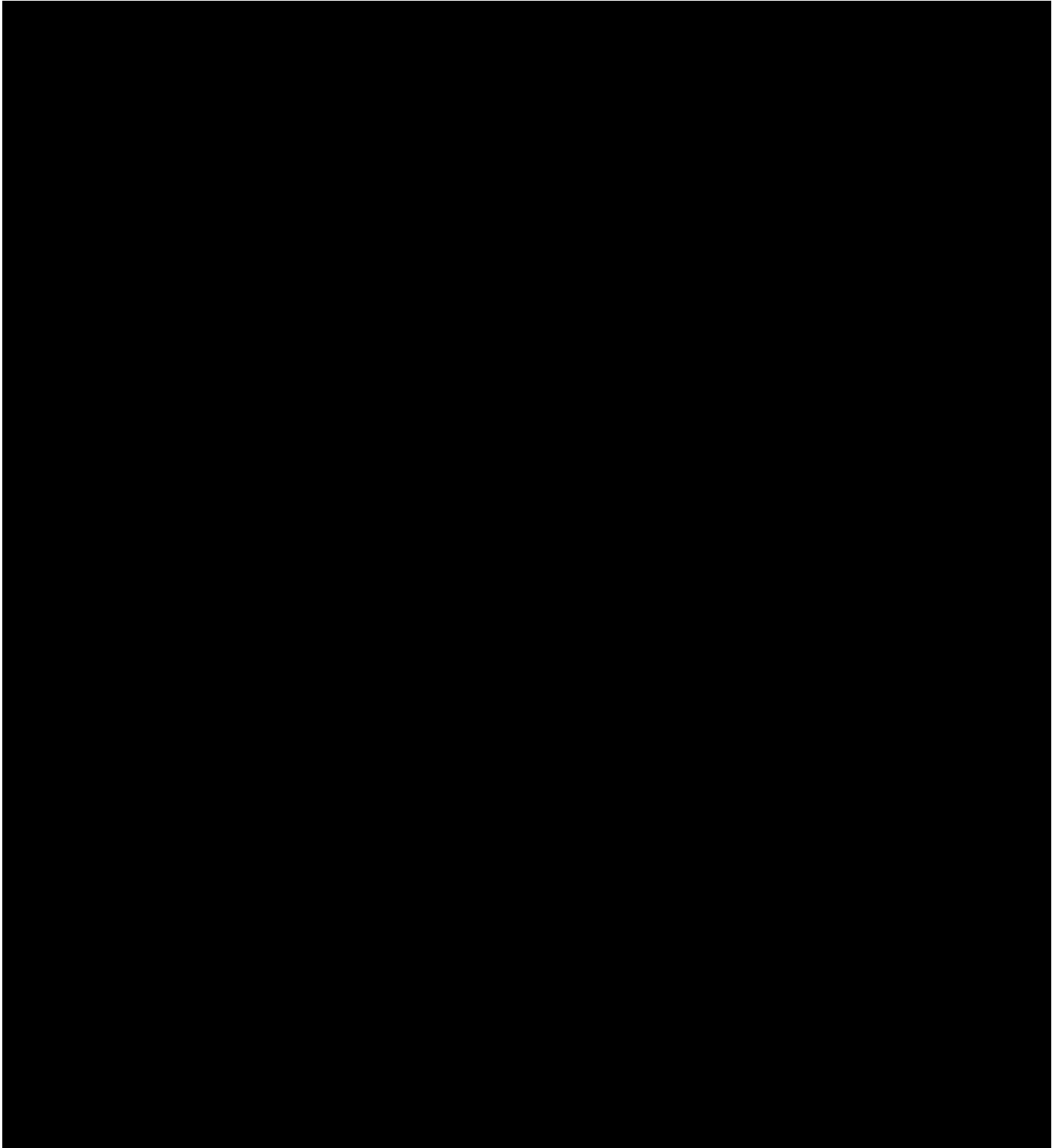


図 7-2 計画策定プロセス(案)

7.1.2. 説明資料の構成の検討

計画策定プロセスの中での活用を想定する本資料における検討の位置付け、検討手順を整理し、検討結果である、道路計画の必要性の確認、複数案の設定と評価項目の設定、複数案の比較評価を整理した。説明資料の構成と記述概要を下表に示す。

表 7-2 説明資料構成と概要

説明資料の構成		概要
1)本検討の位置付け		● 構想段階における道路計画策定プロセスでの活用を想定した説明資料としての位置付けを記述
2)検討手順		● 道路計画の必要性の確認、複数案の設定と評価項目の設定、複数案の比較評価の全体の流れを記述
3)STEP2:課題の共有と道路計画の必要性の確認	道路に求められる役割・機能の整理	● 上位計画や社会情勢、土地利用・交通特性、地域の声から、広域道路に求められる役割・機能を整理
	沿道地域の配慮事項の整理	● 社会情勢、土地利用・交通特性から、沿道地域の配慮事項を整理
	道路計画に求められる条件の抽出	● 「道路に求められる役割・機能」および「沿道地域の配慮事項」を考慮した場合の、道路計画に求められる条件を抽出
4)STEP3:複数案の設定と評価項目の設定	評価項目の導出	● 道路に求められる役割・機能の実現性を評価する方法・指標を検討(起終点の評価、ルートの評価それぞれ設定)
	対策案(起終点)の立案	● 道路計画の条件を基に、条件を満たすための対策案(起終点)を複数立案
	対策案(起終点)の比較・決定	● 起終点案について、検討した評価項目により評価を実施し、有力案を選定
	対策案(ルート)の立案	● 道路計画の条件を基に、条件を満たすための対策案(ルート)を複数立案
5)STEP4:複数案の比較評価	対策案(ルート)の比較	● 立案した複数の対策案に対して、整理した評価項目を用いて定量的・定性的に比較評価を実施し、有力案を選定

7.2. 説明資料の作成

7.1 に示した説明資料構成に従い、計画策定プロセスの中での活用を想定した説明資料を作成した。

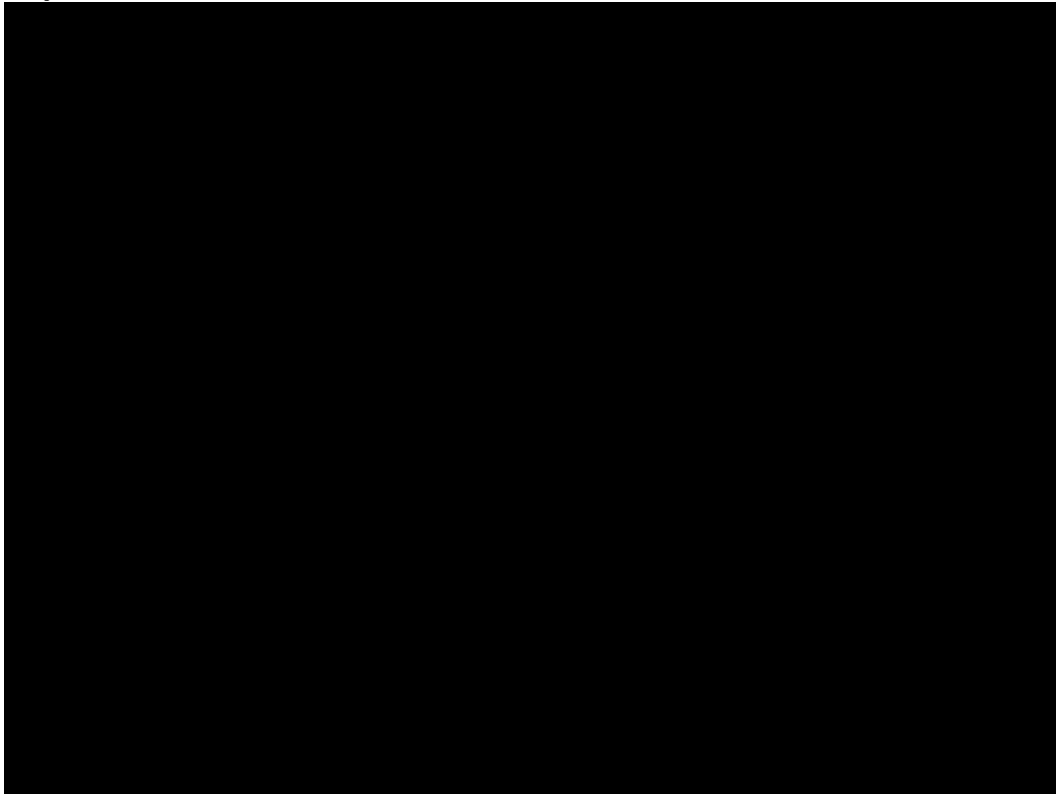


図 7-3 説明資料案(1/29)

1) 本検討の位置付け

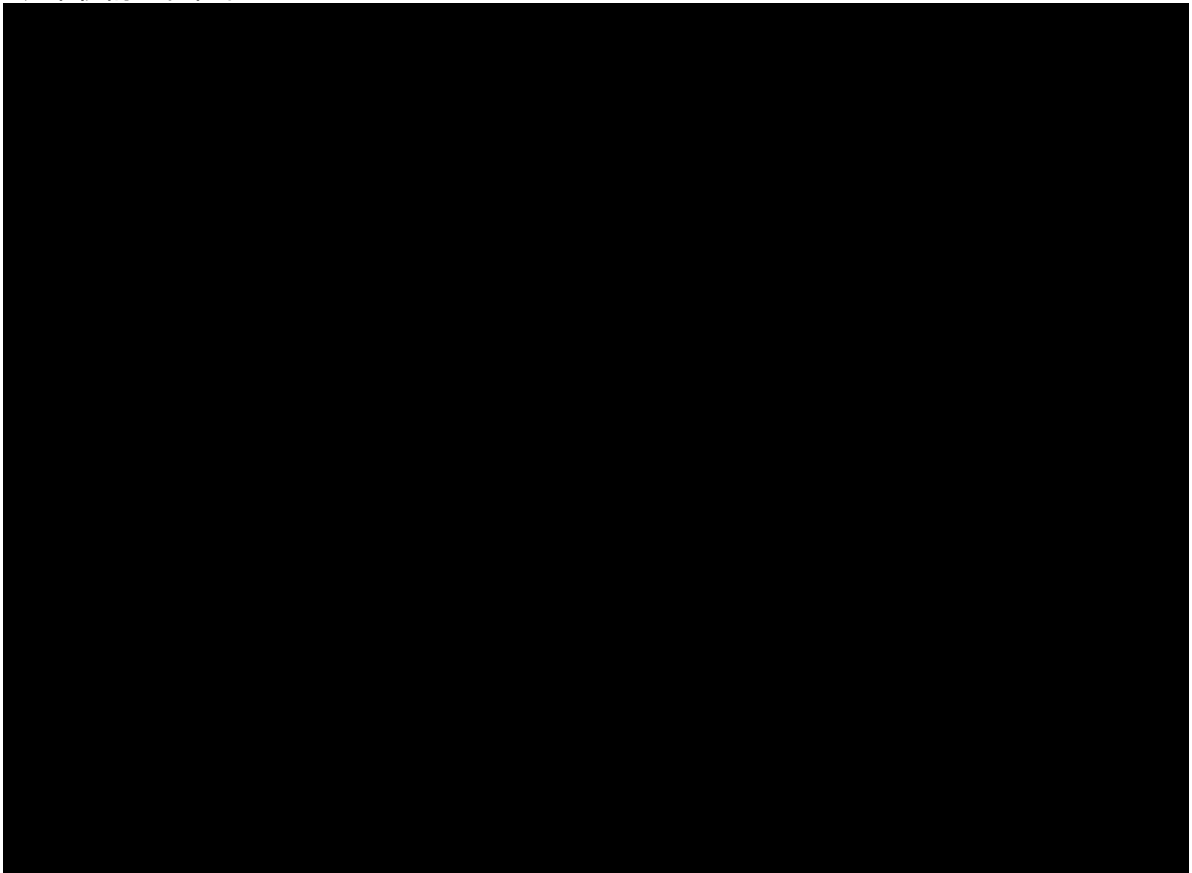


図 7-4 説明資料案(2/29)

2) 検討手順

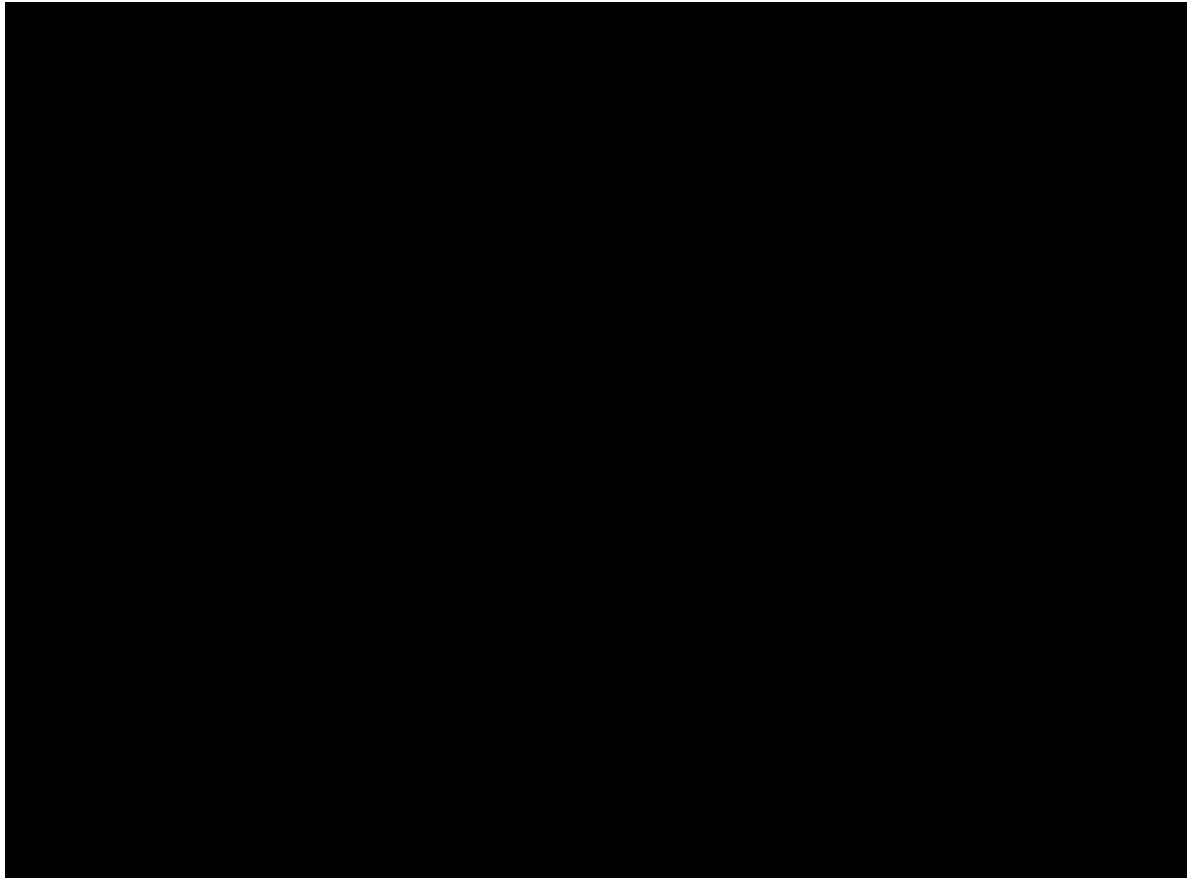


図 7-5 説明資料案(3/29)

3) STEP2：課題の共有と道路計画の必要性の確認

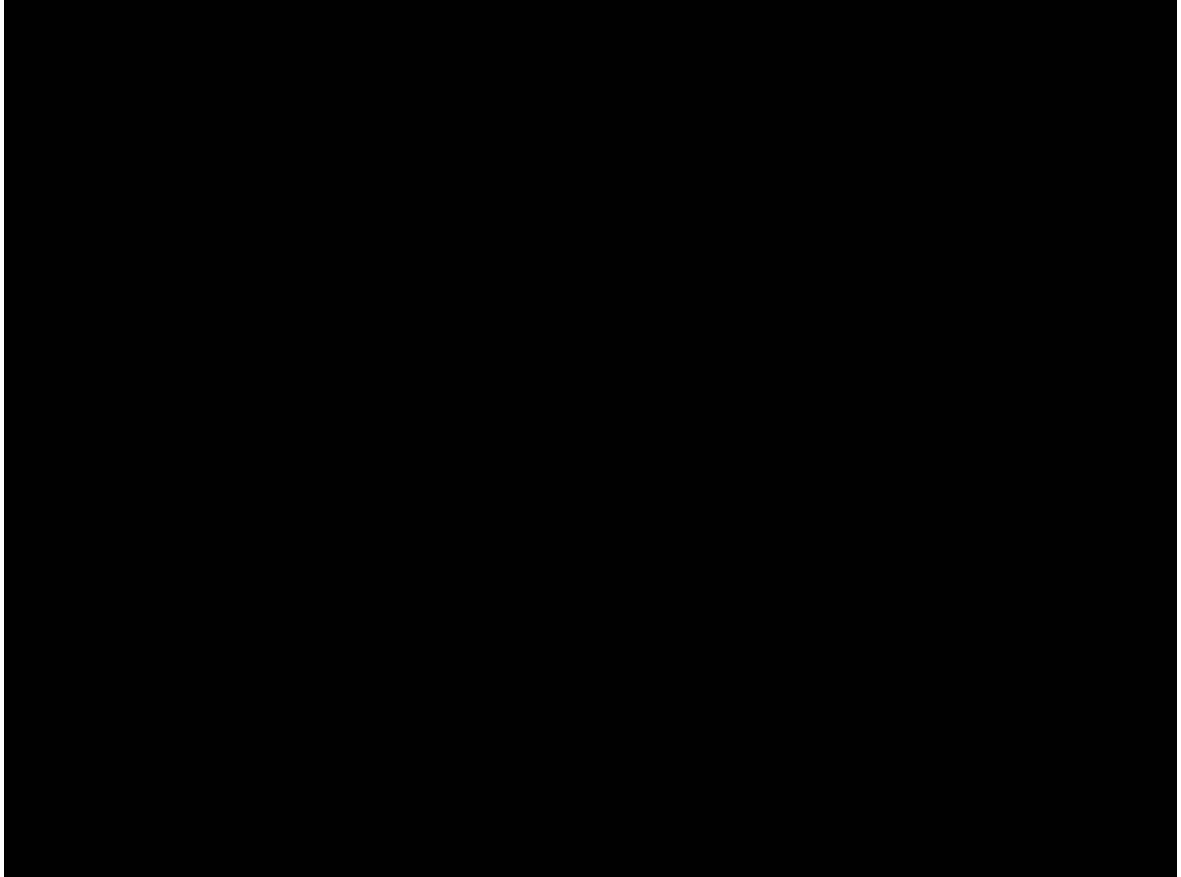


図 7-6 説明資料案(4/29)

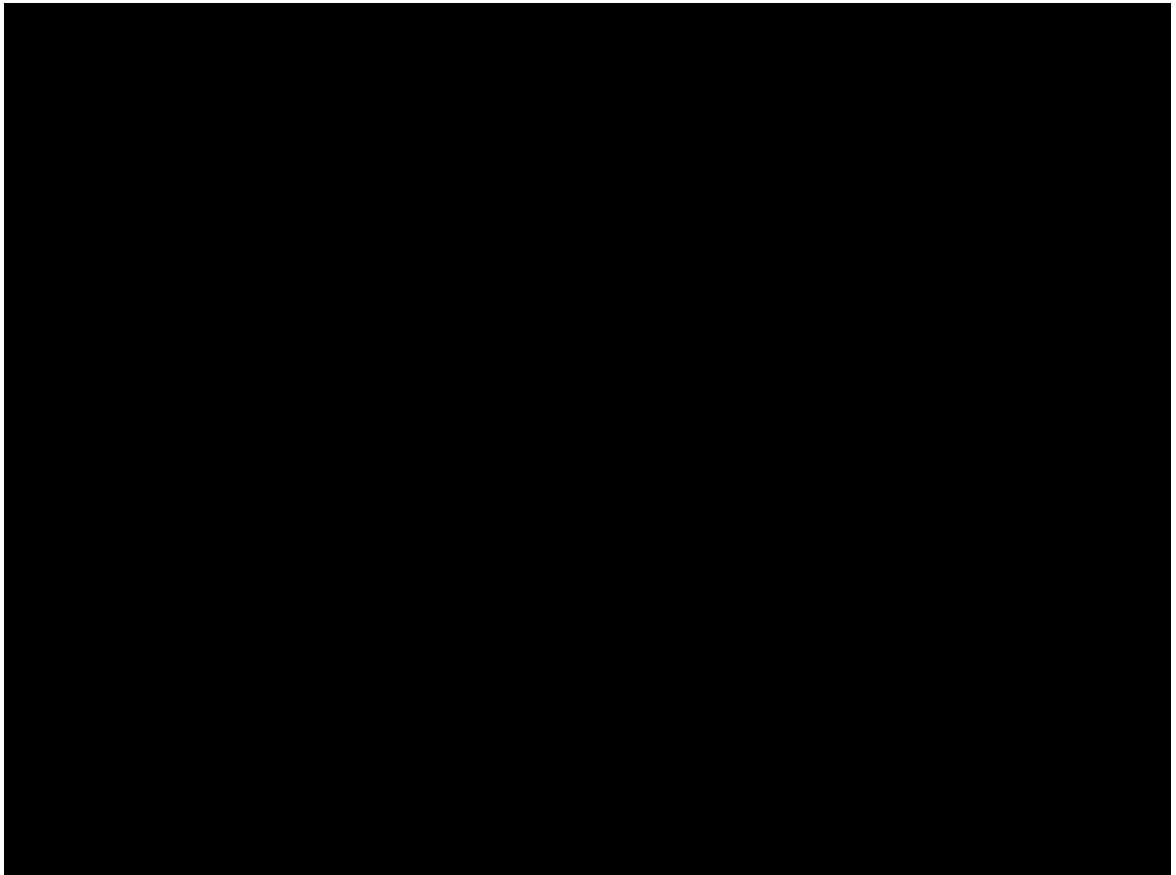


図 7-7 説明資料案(5/29)

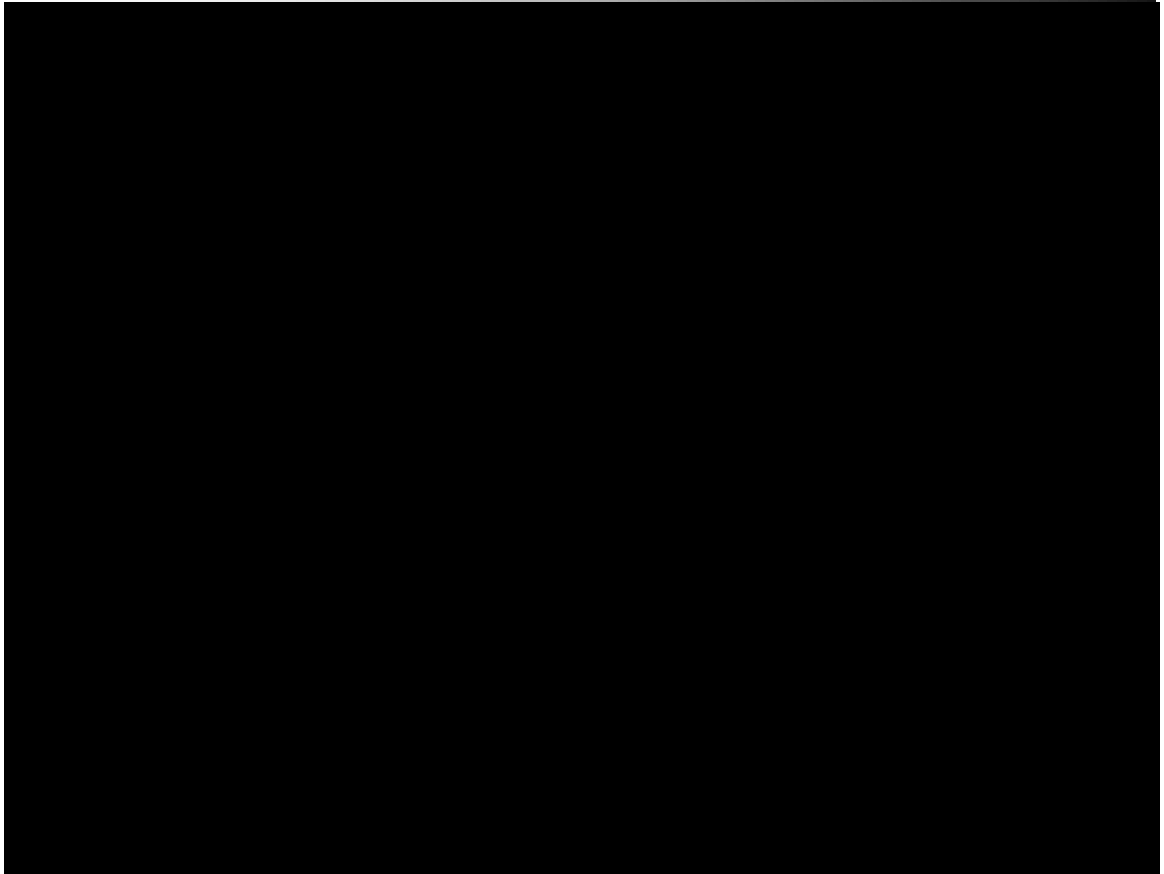


図 7-8 説明資料案(6/29)

4) STEP3：複数案の設定と評価項目の設定

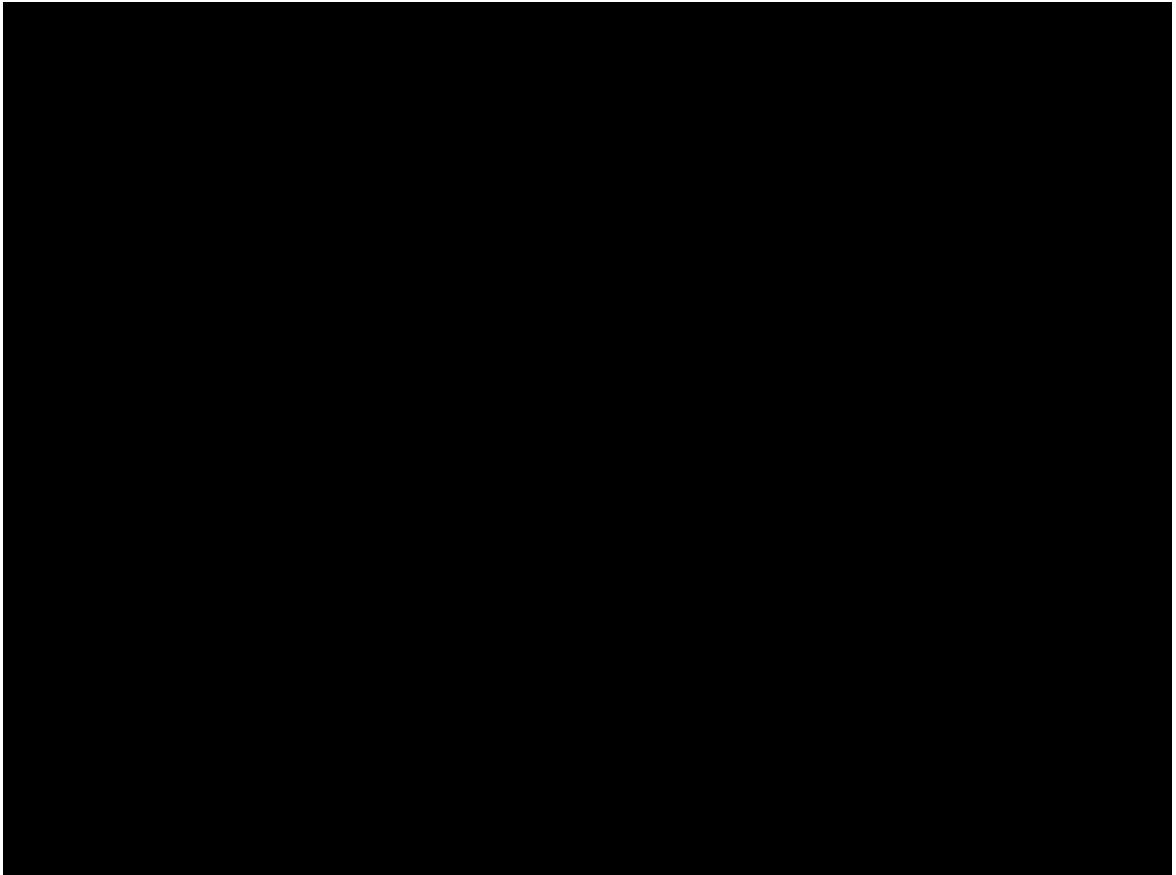


図 7-9 説明資料案(7/29)

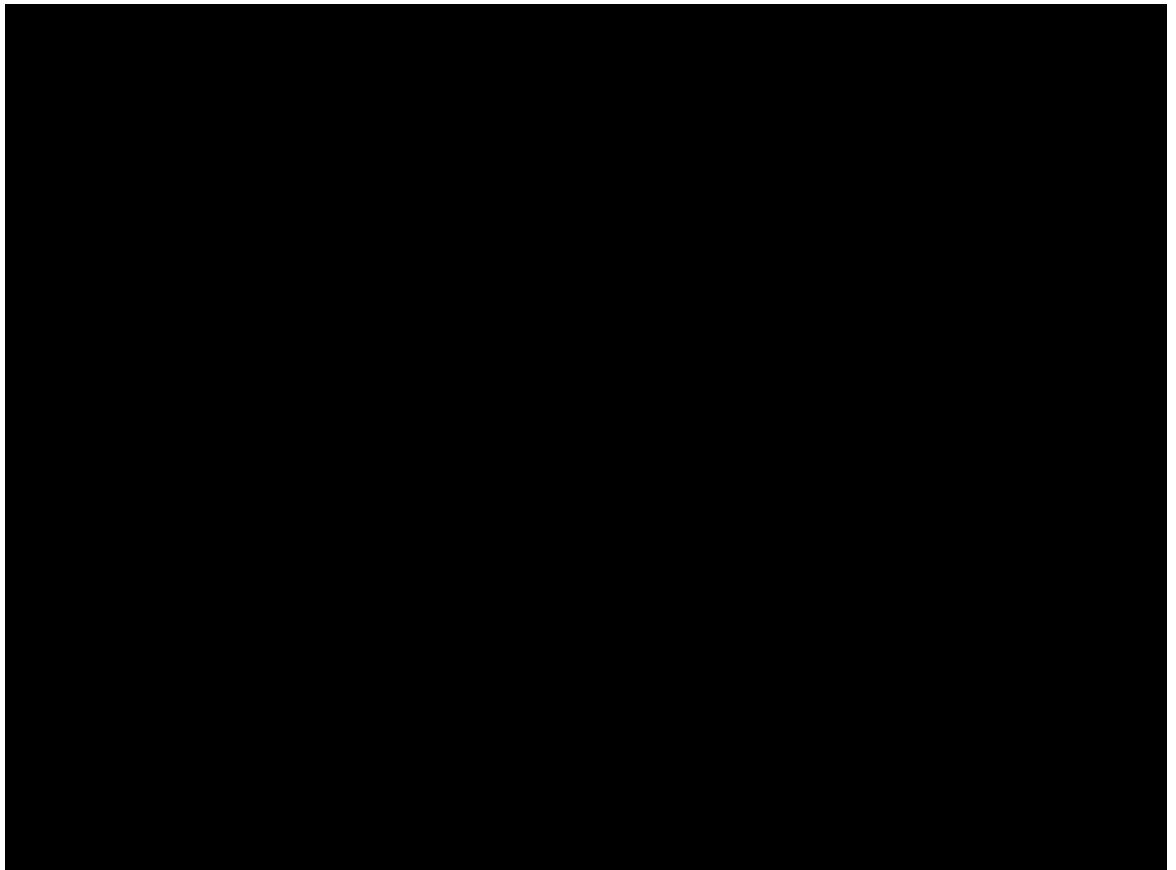


図 7-10 説明資料案(8/29)

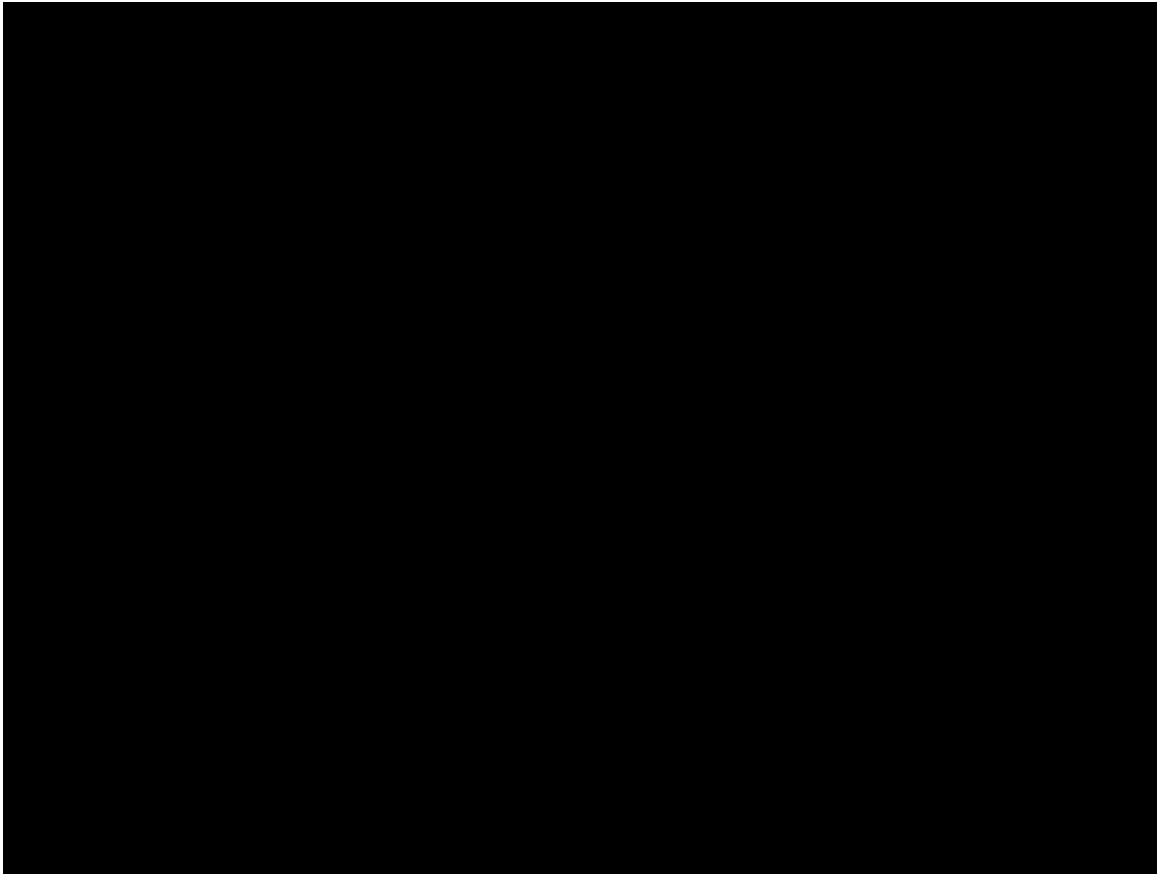


図 7-11 説明資料案(9/29)

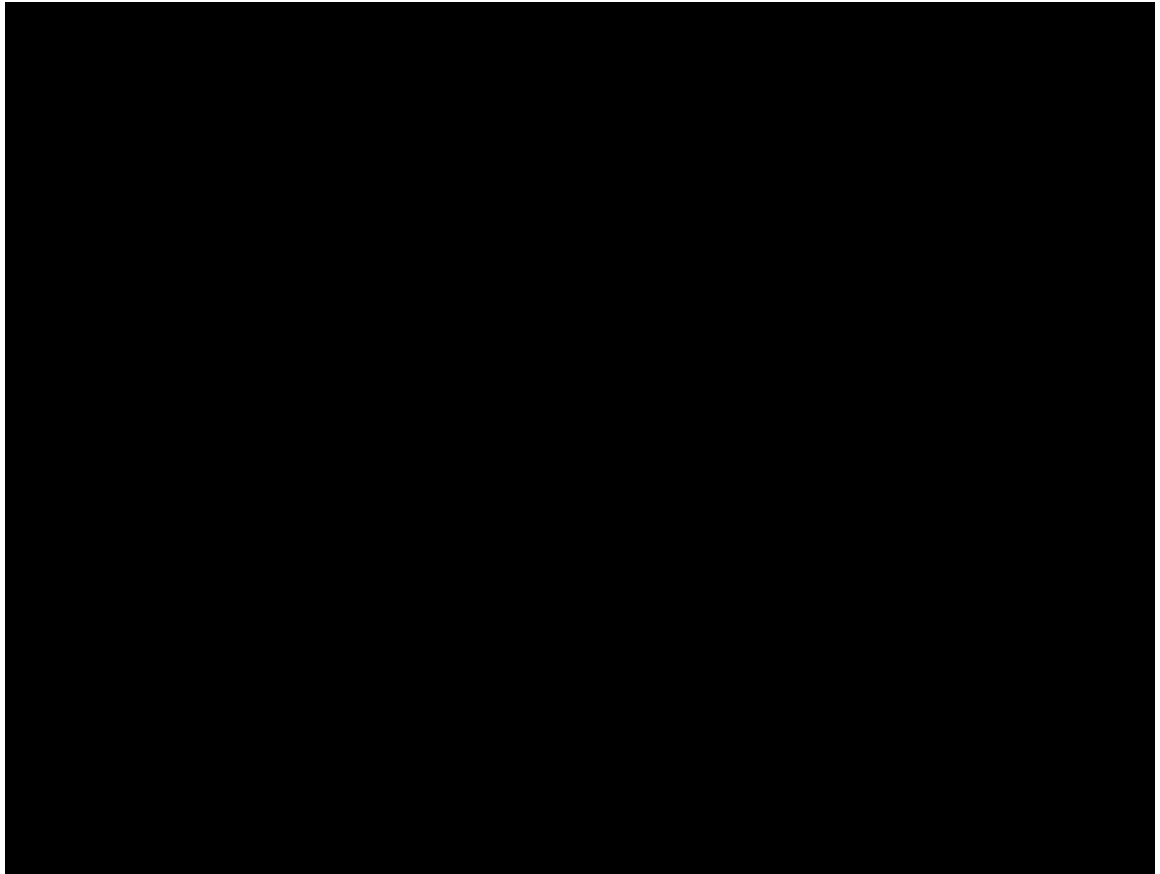


図 7-12 説明資料案(10/29)

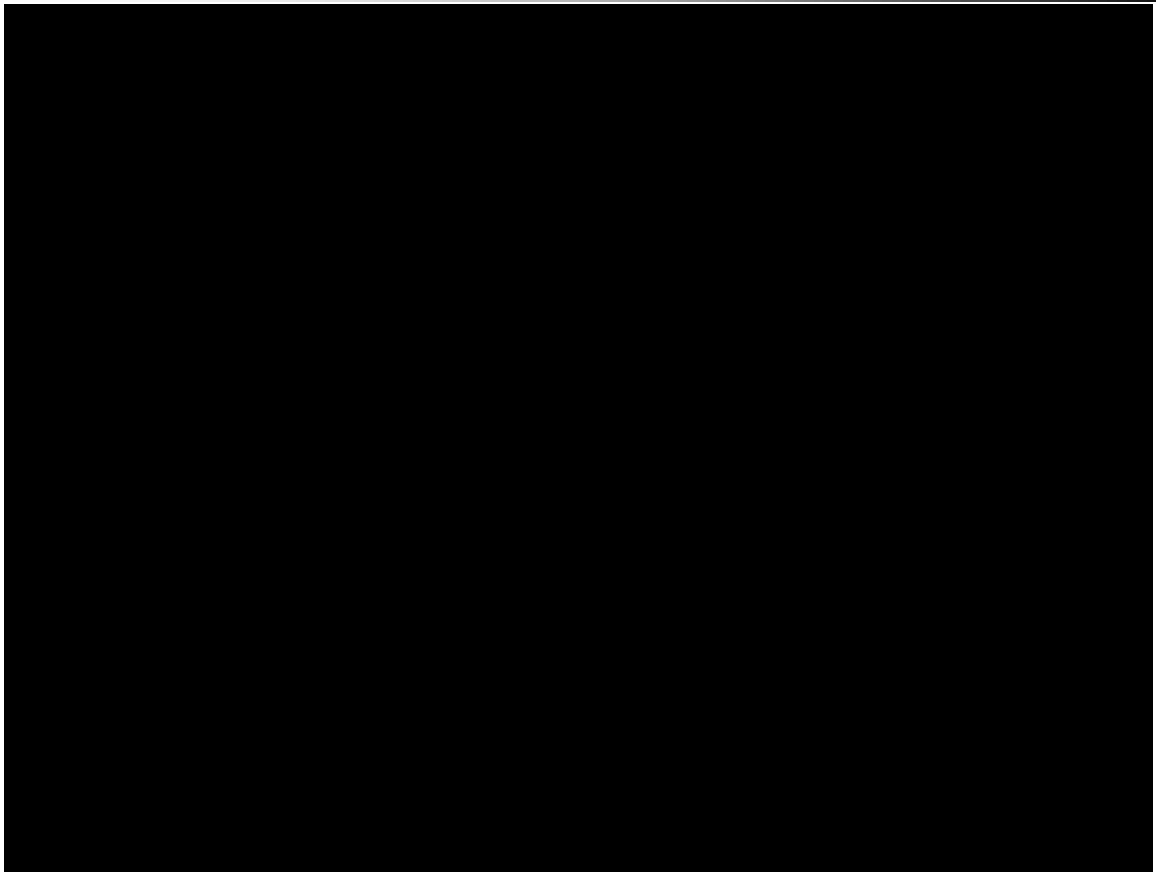


図 7-13 説明資料案(11/29)

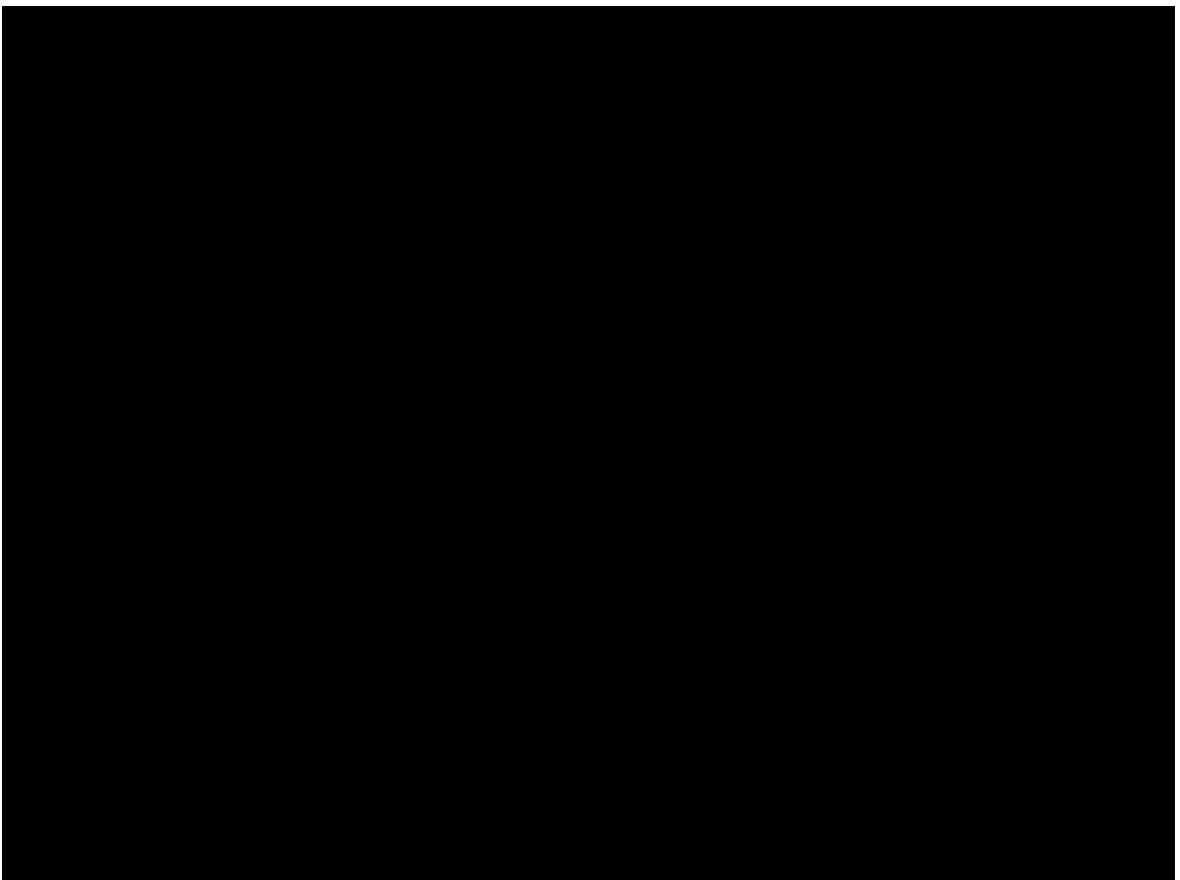


図 7-14 説明資料案(12/29)

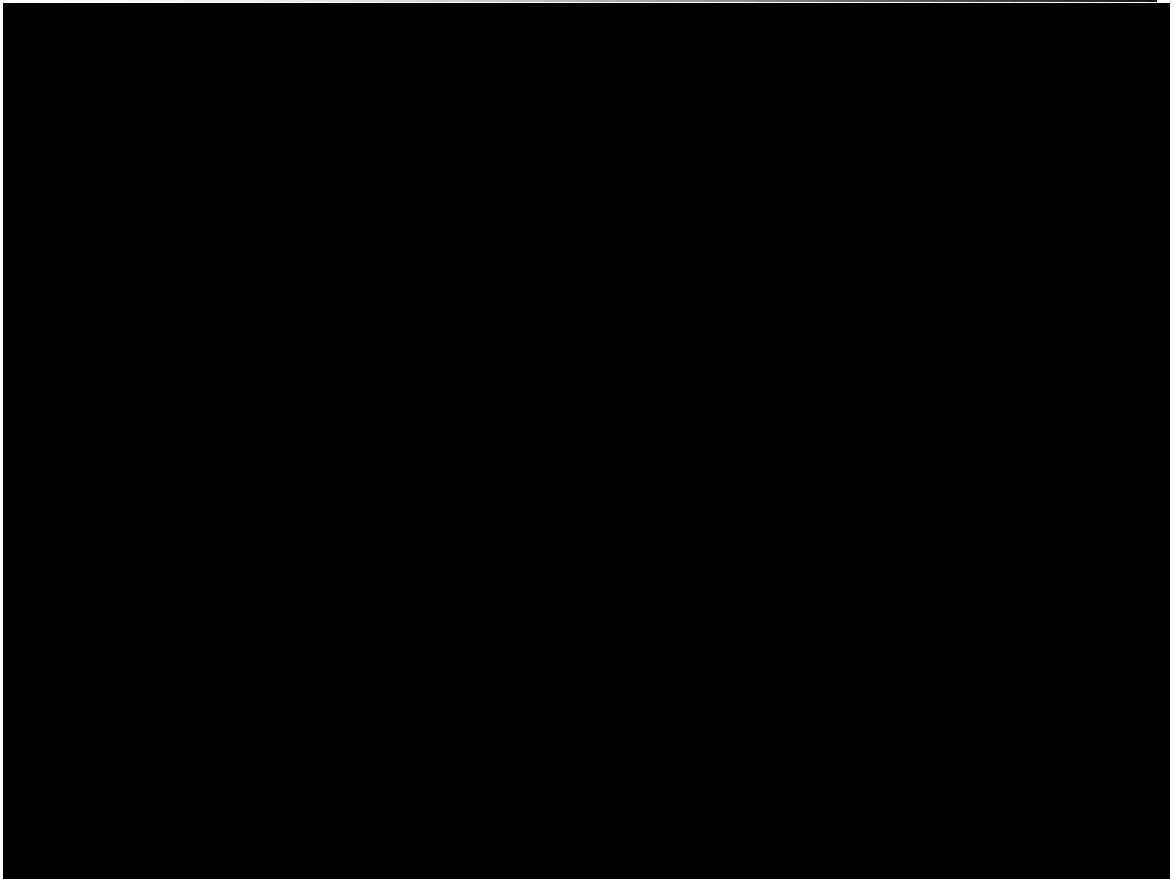


図 7-15 説明資料案(13/29)

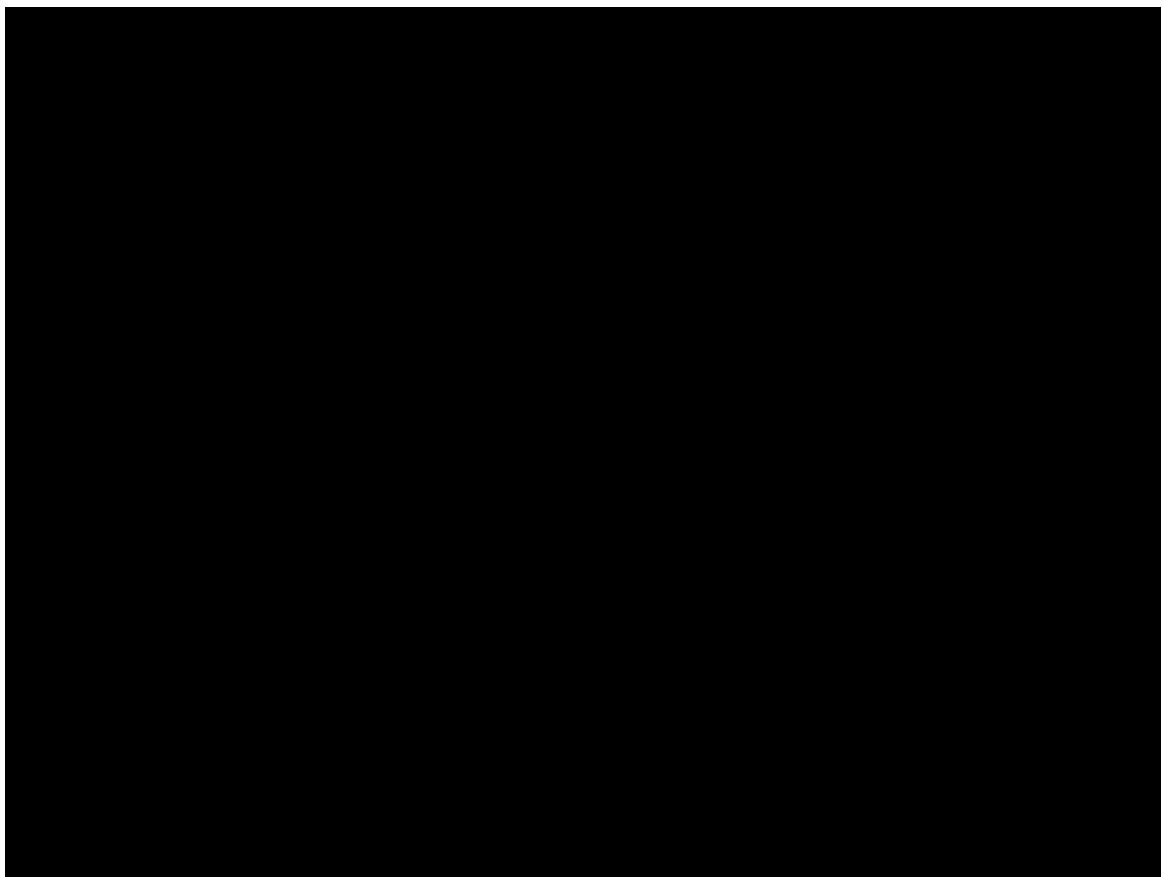


図 7-16 説明資料案(14/29)

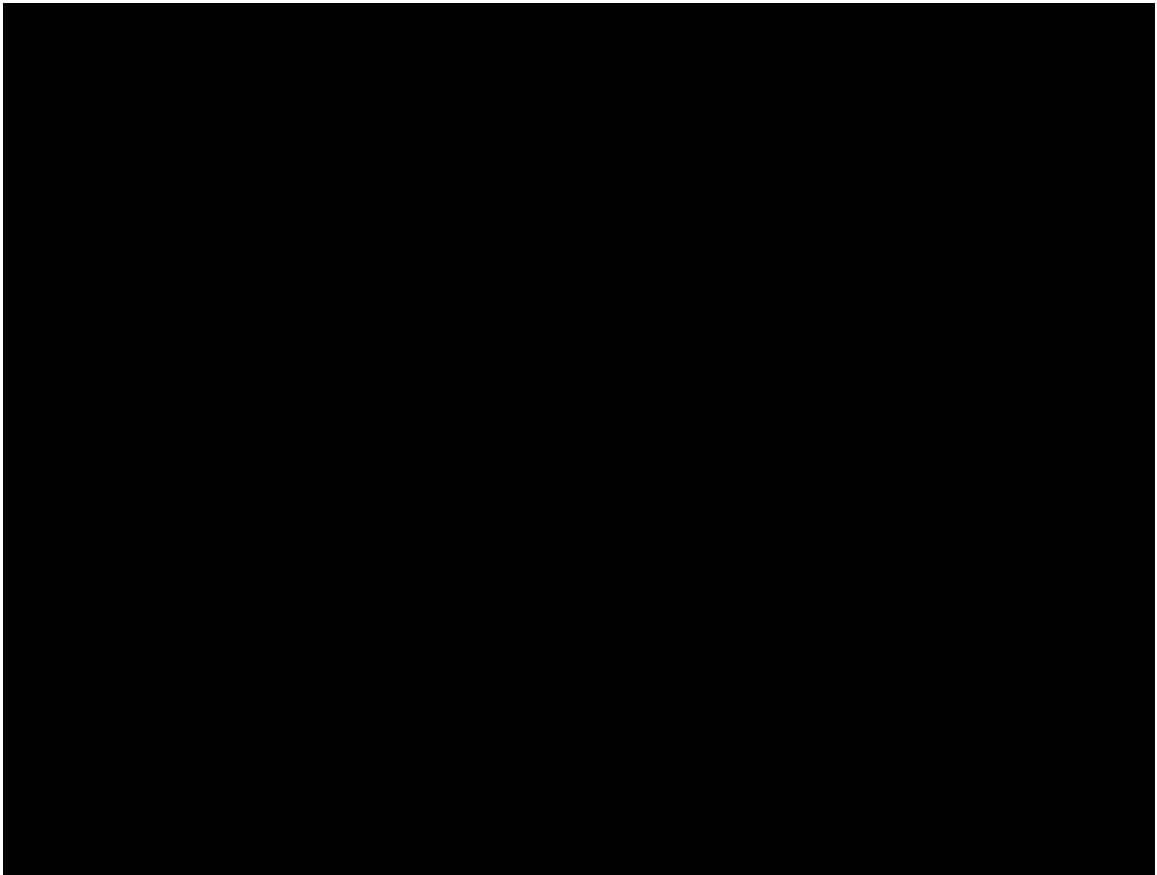


図 7-17 説明資料案(15/29)

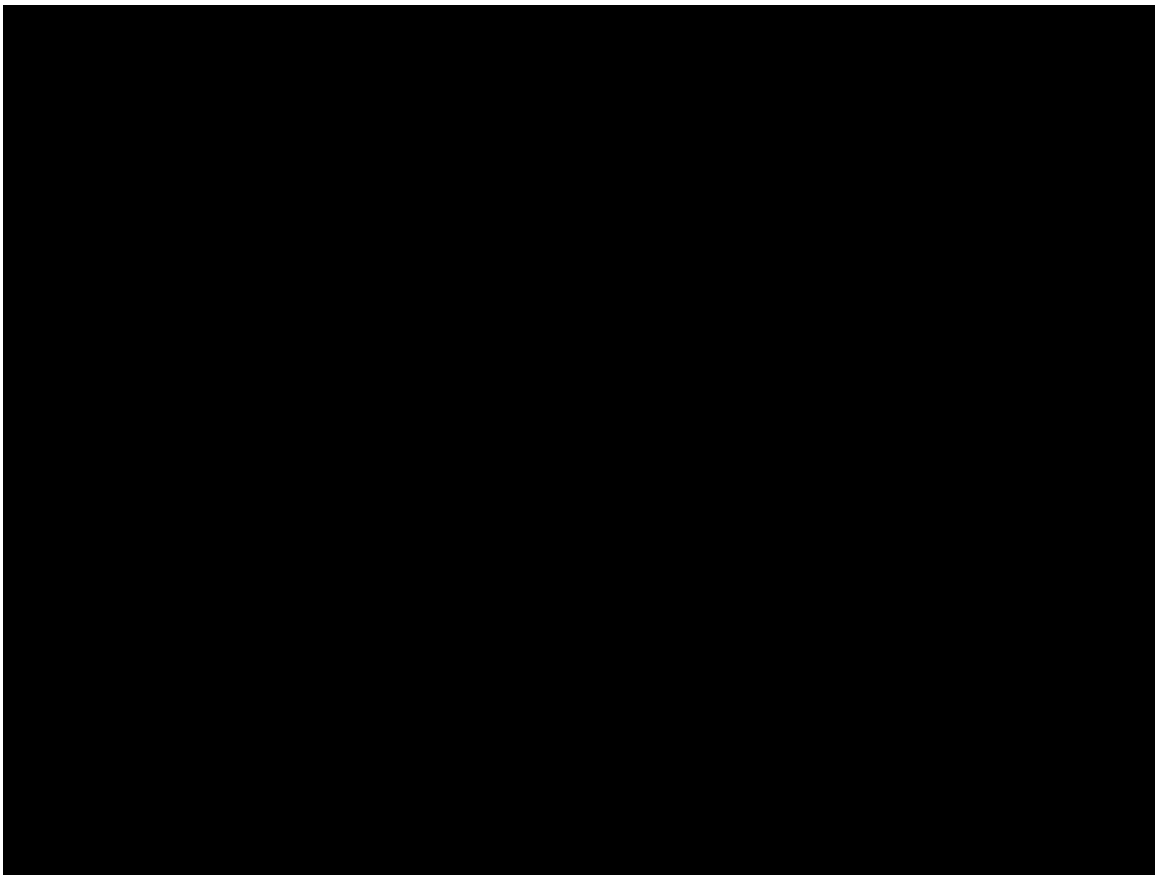


図 7-18 説明資料案(16/29)

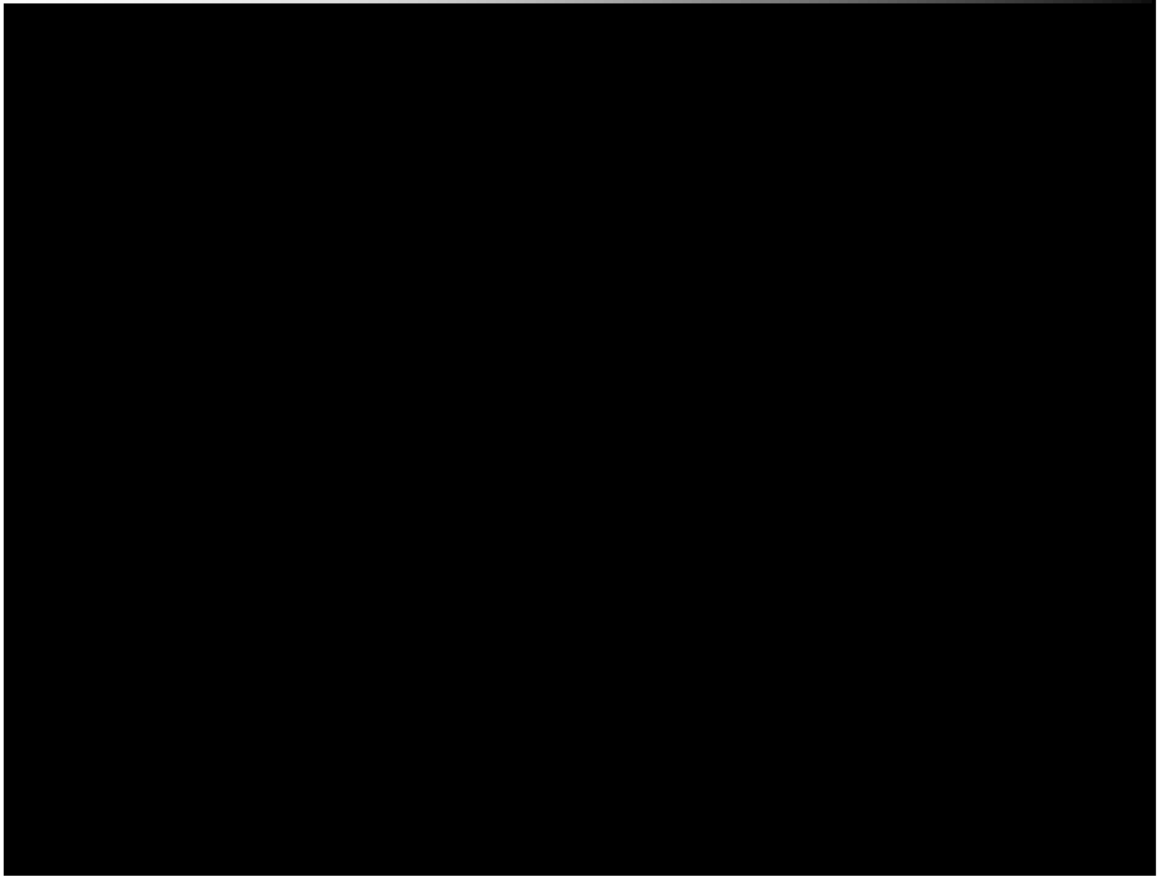


図 7-19 説明資料案(17/29)

5) STEP4：複数案の比較評価

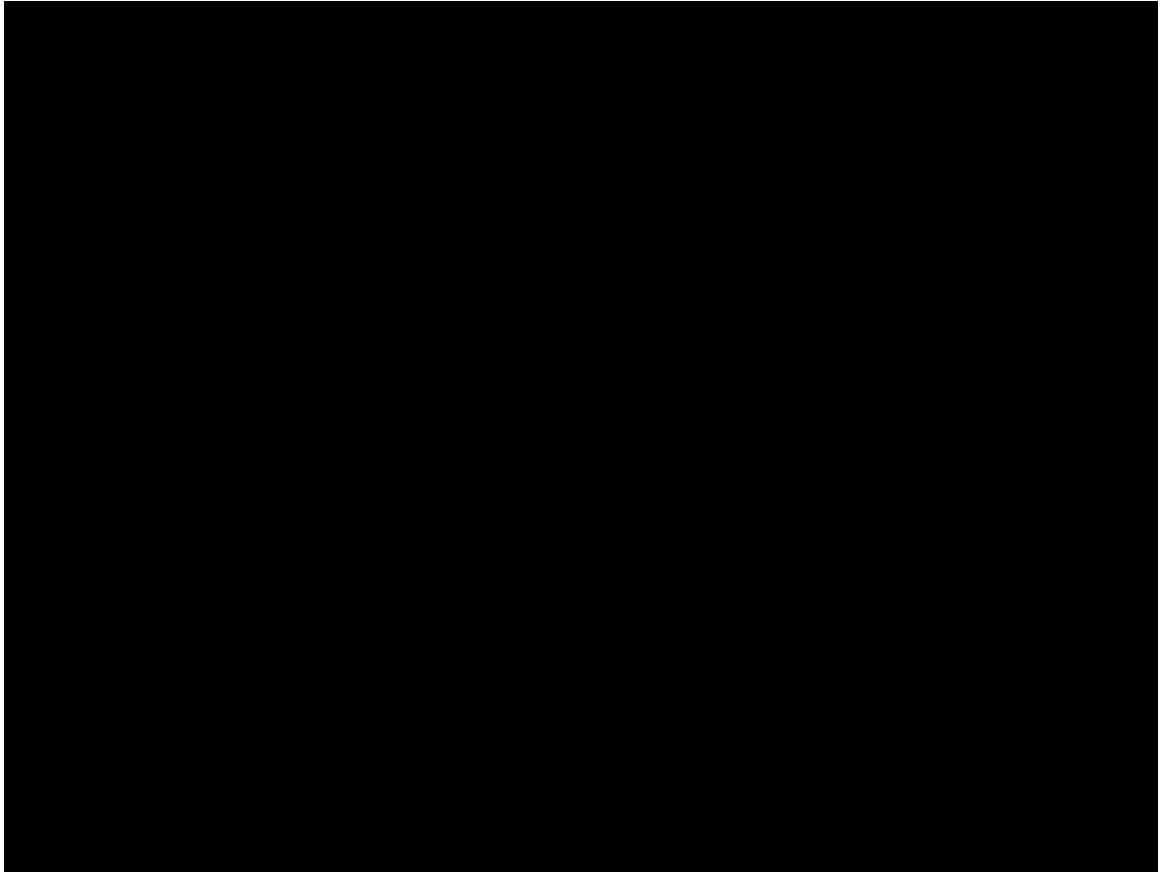


図 7-20 説明資料案(18/29)

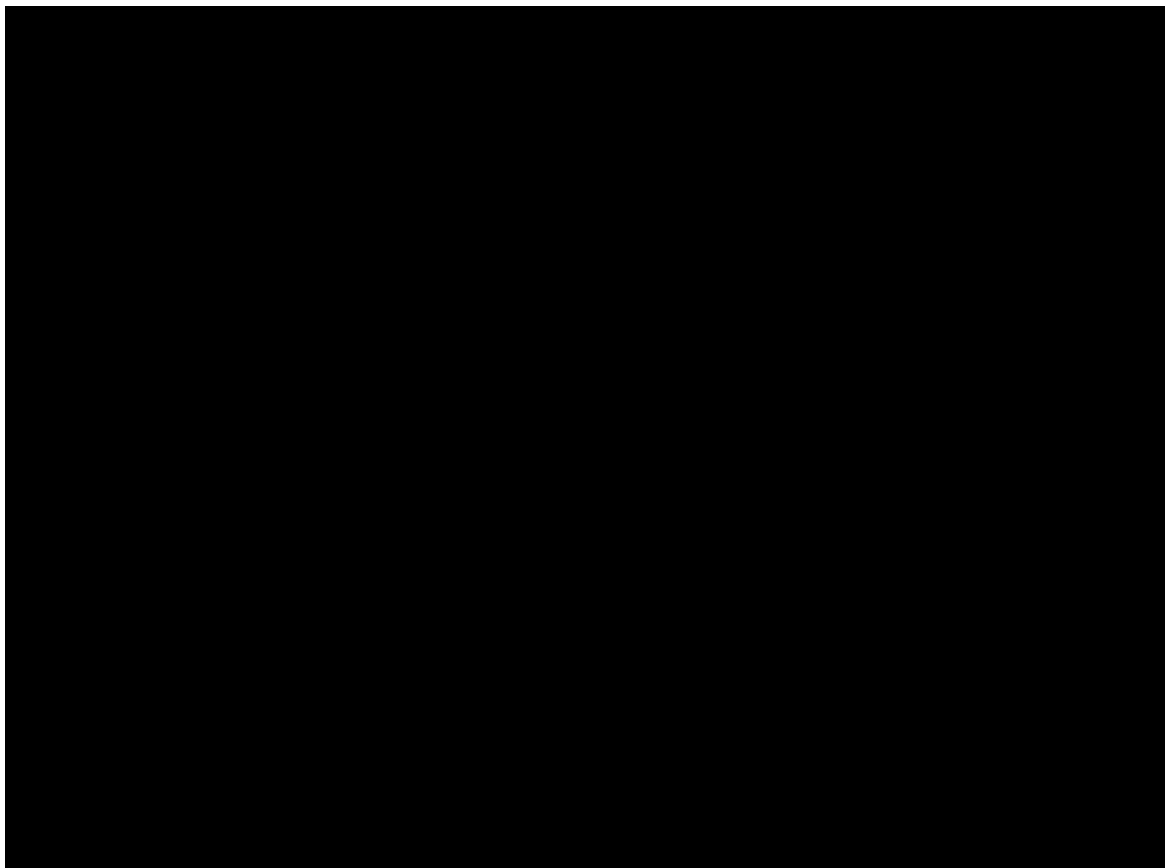


図 7-21 説明資料案(19/29)

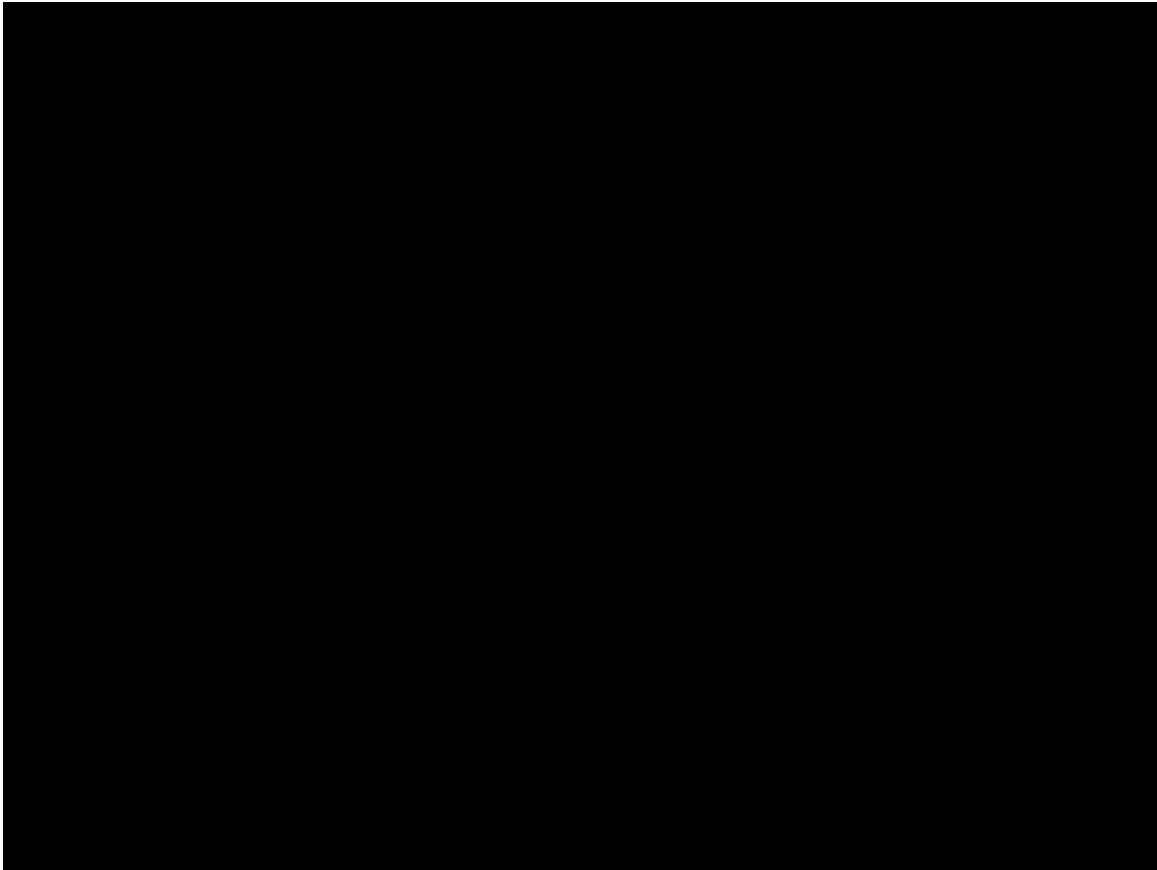


図 7-22 説明資料案(20/29)

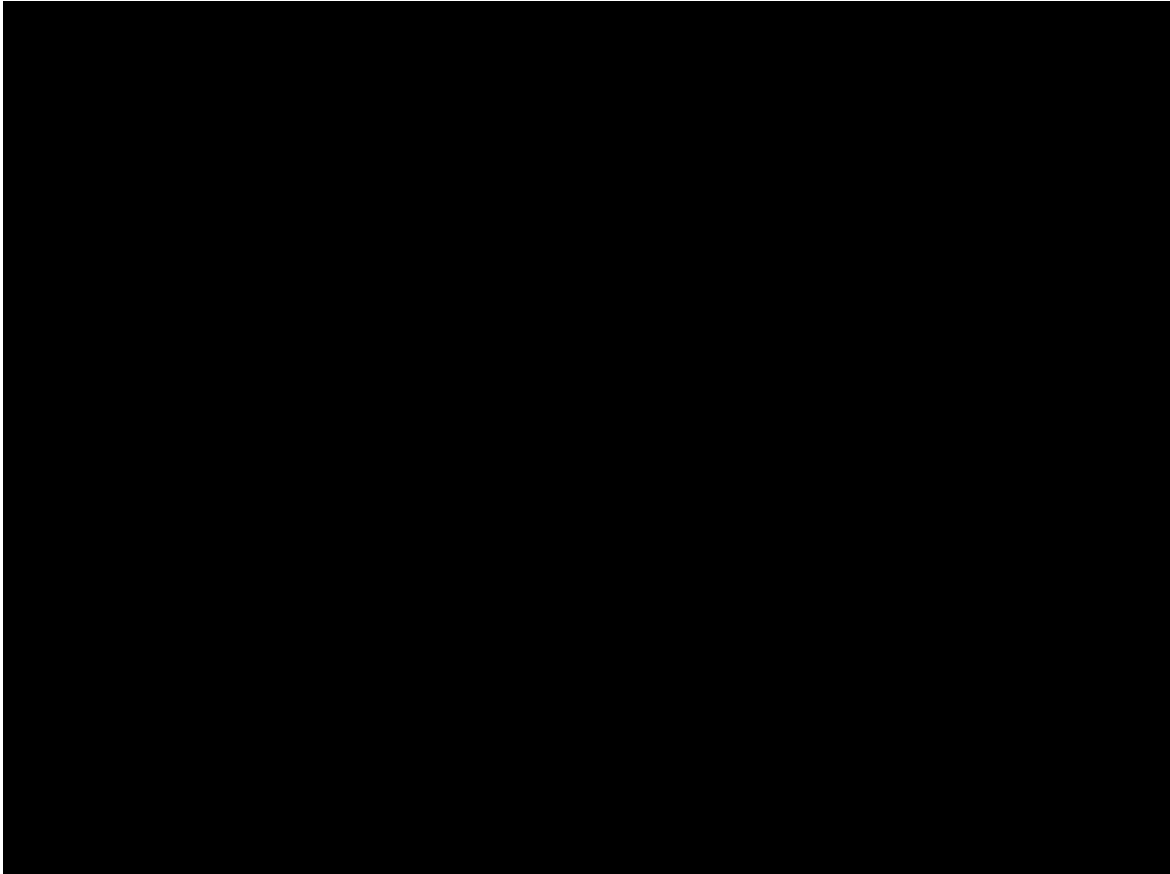


図 7-23 説明資料案(21/29)

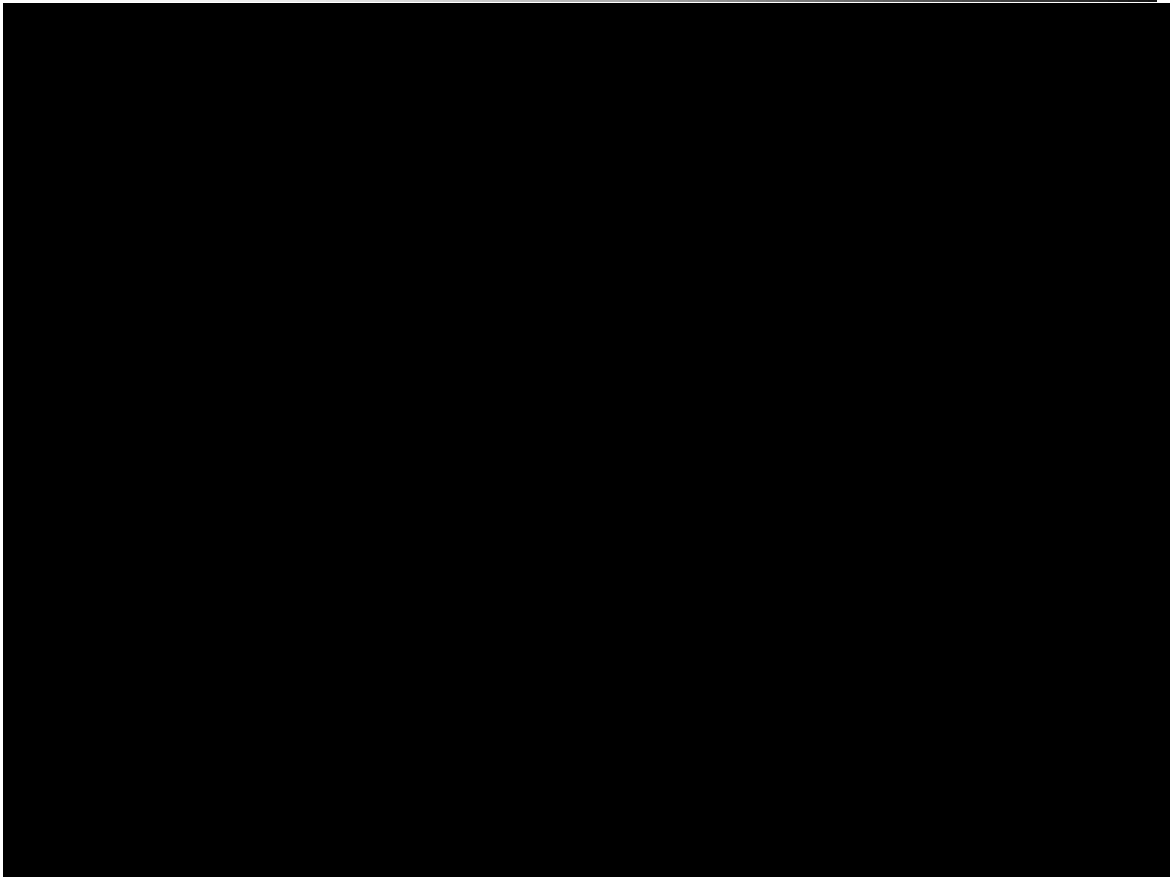


図 7-24 説明資料案(22/29)

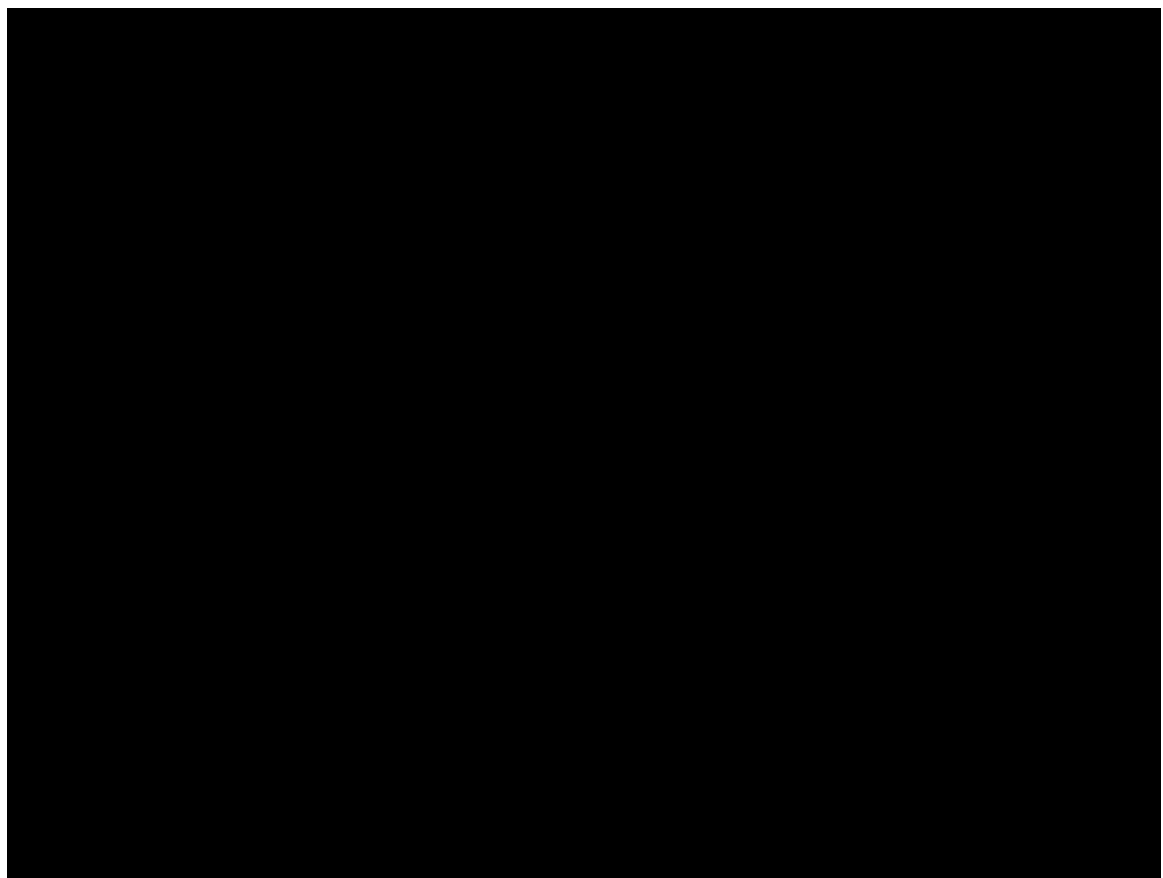


図 7-25 説明資料案(23/29)

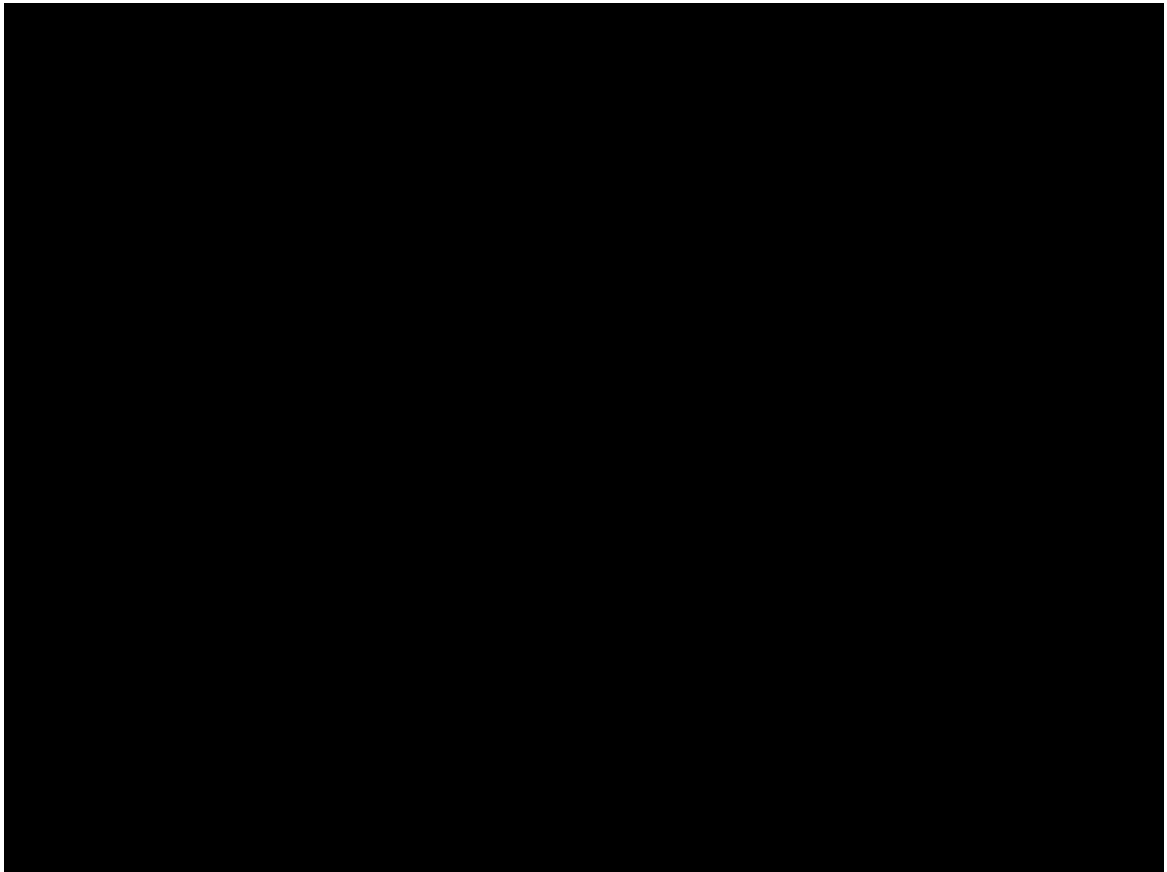


図 7-26 説明資料案(24/29)

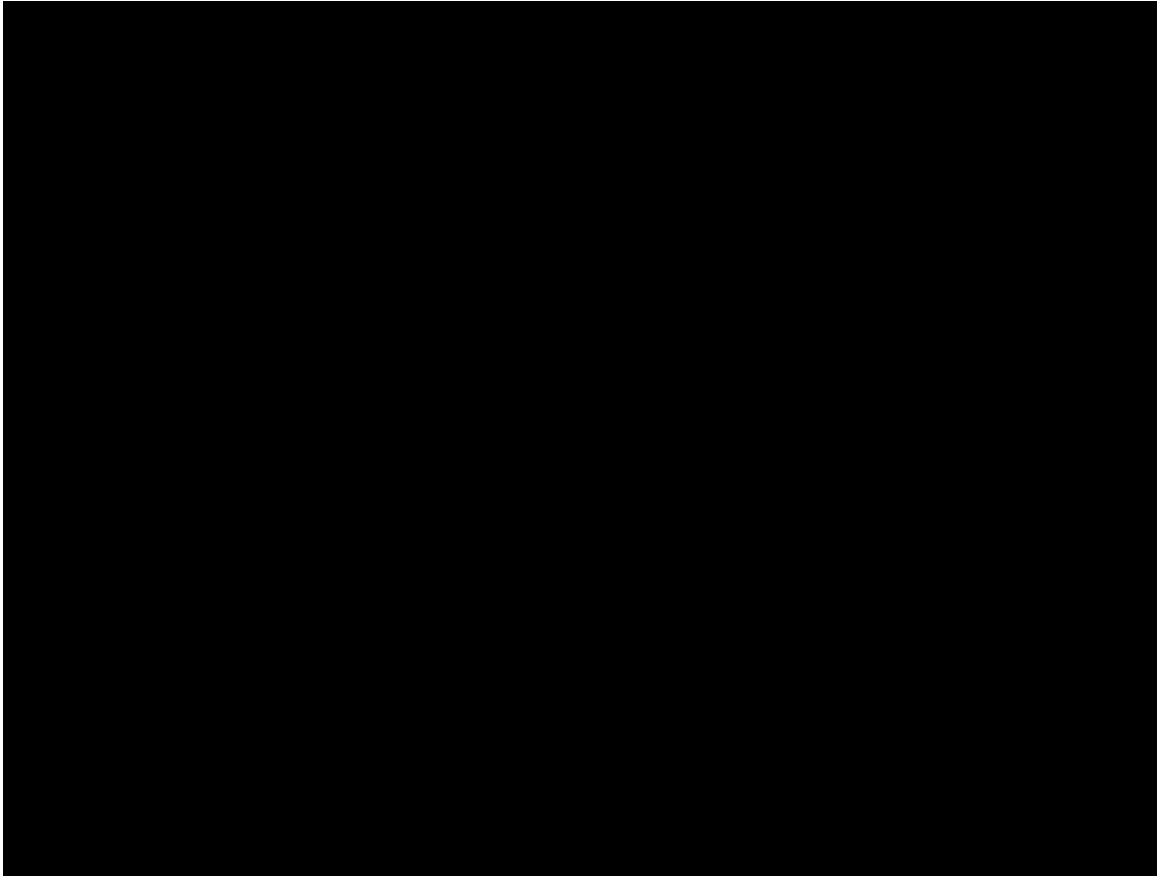


図 7-27 説明資料案(25/29)

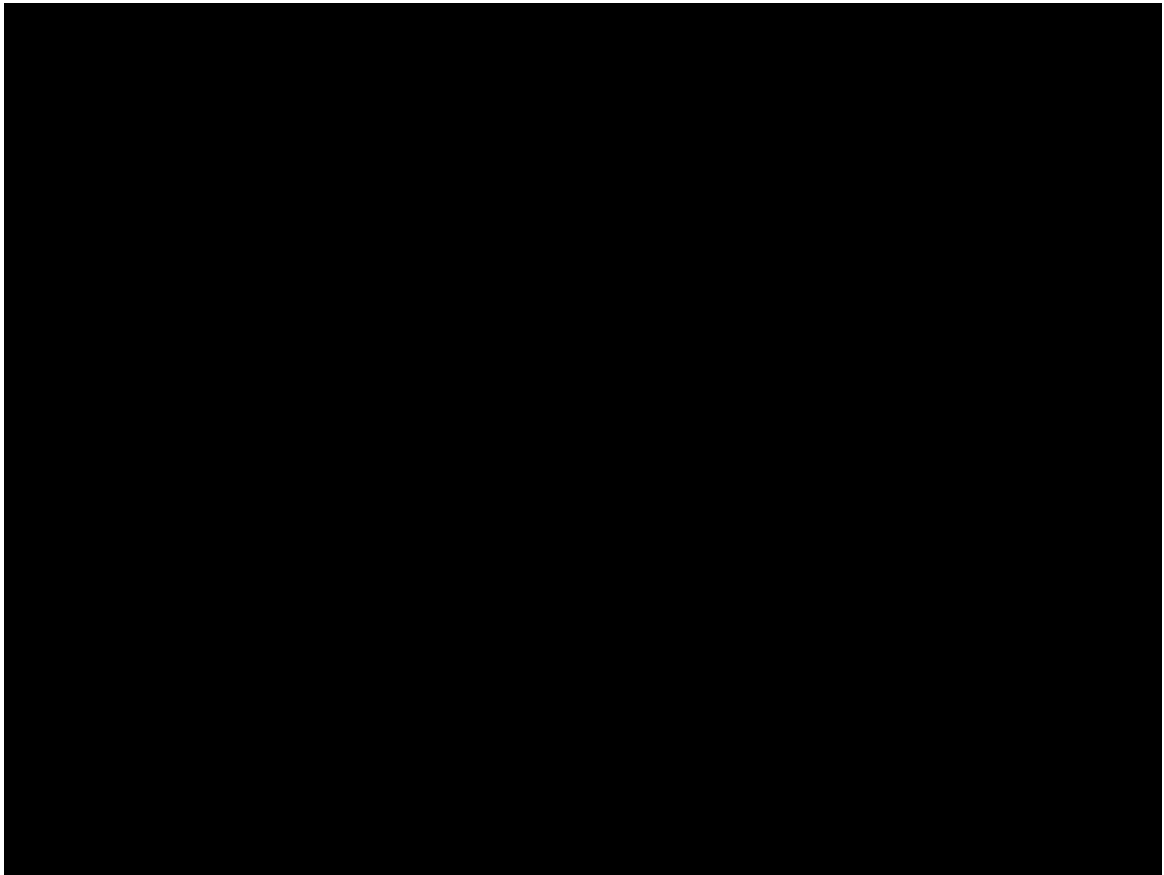


図 7-28 説明資料案(26/29)

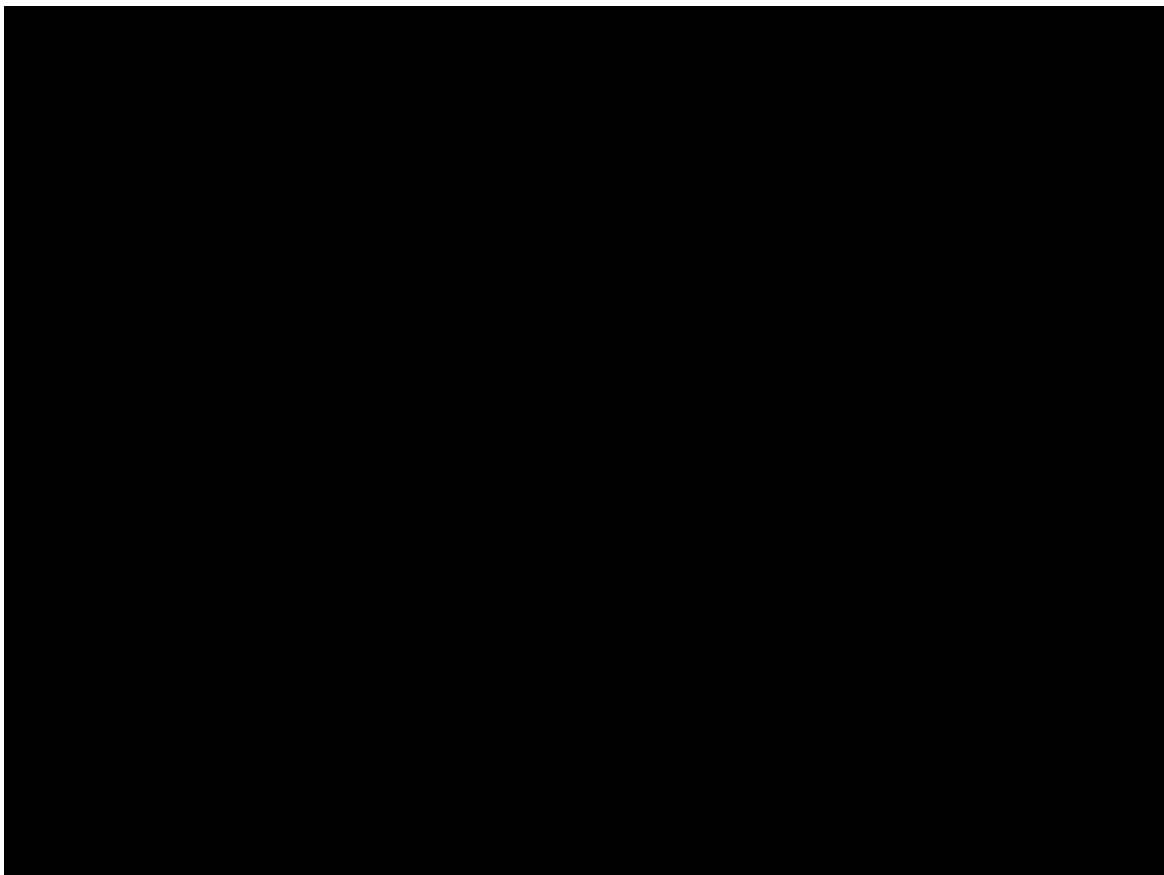


図 7-29 説明資料案(27/29)

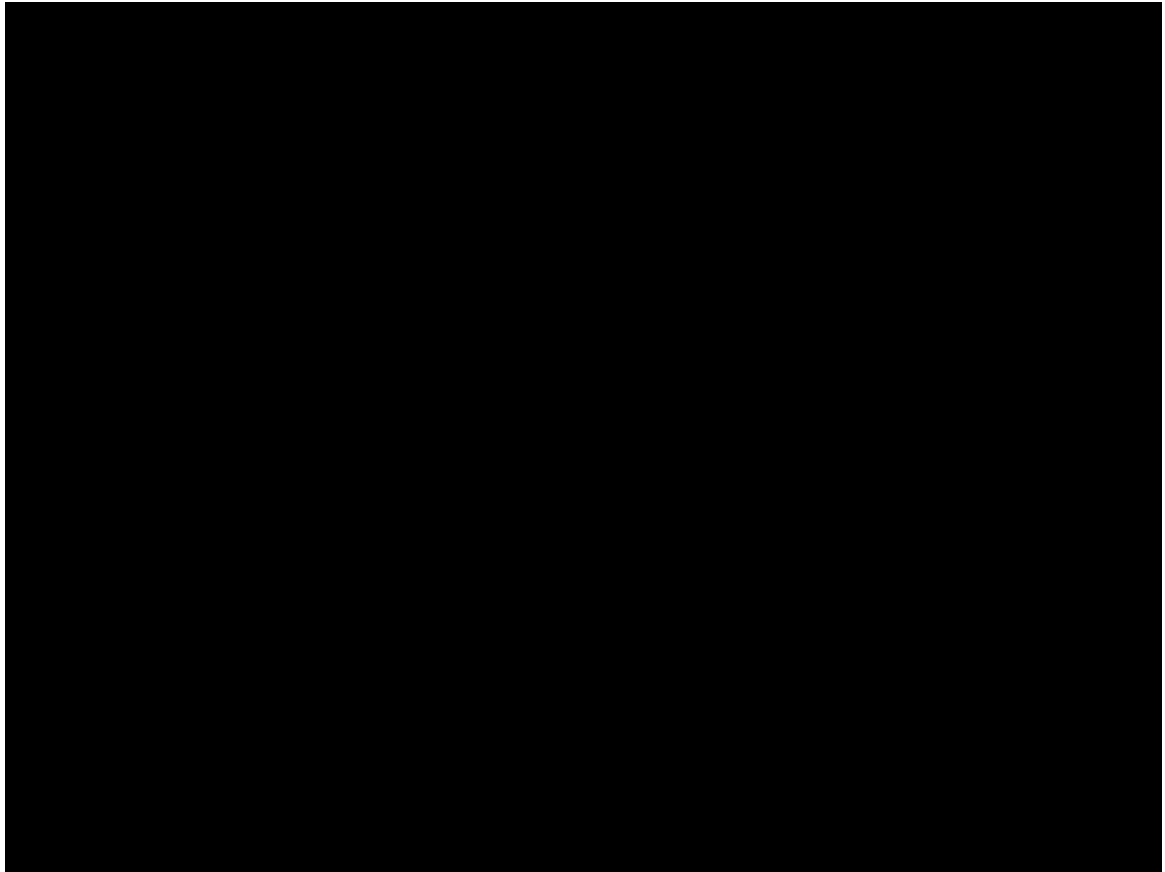


図 7-30 説明資料案(28/29)

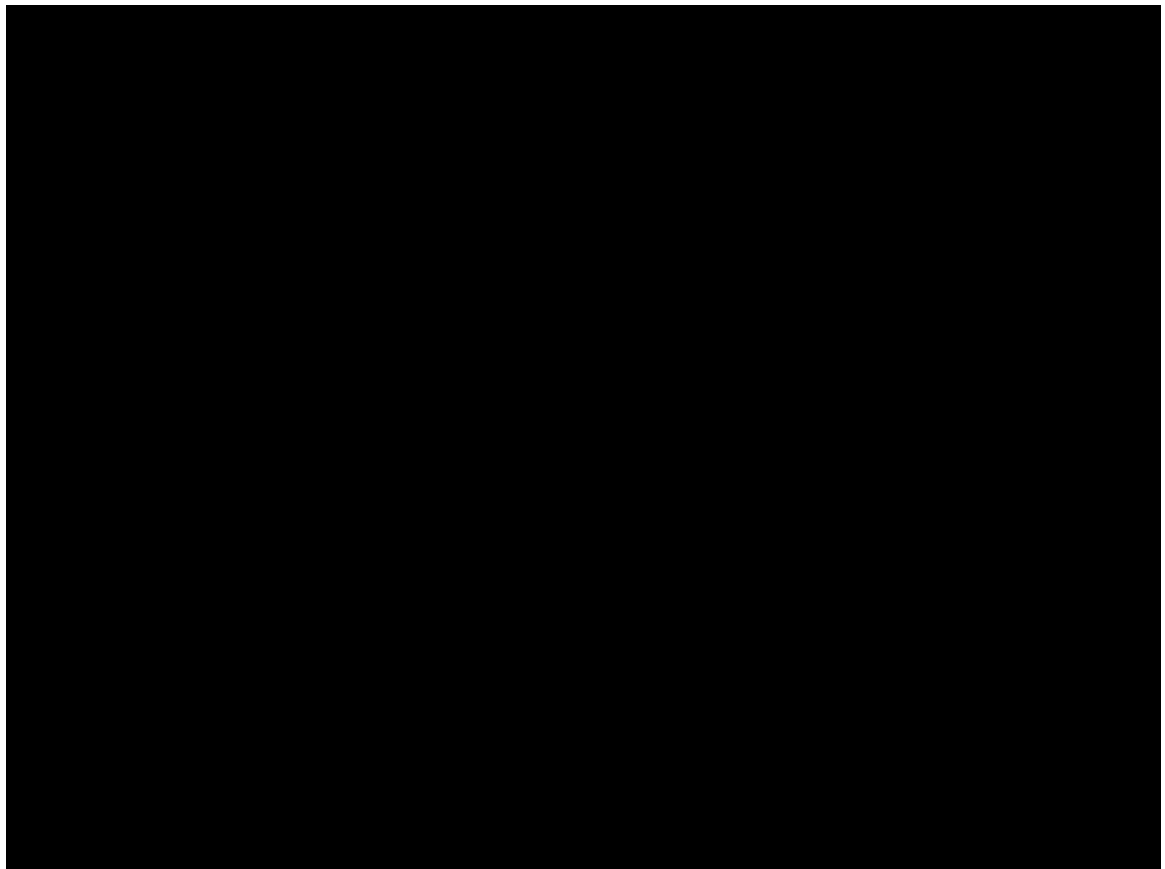


図 7-31 説明資料案(29/29)